

津市総合計画審議会からの答申素案

津市総合計画前期基本計画の中間年度での見直しに当たり、平成22年8月31日付け津市政第251号で諮問のありましたみだしのことについては、審議の結果、下記のとおり答申いたします。

今回の答申にあっては、各重点プログラムを構成する事業の取組状況について個別に整理するのではなく、重点プログラム全体における総括的な推進の観点からのとりまとめといたしました。

今後の計画推進及び後期基本計画の策定に当たっては、本答申のほか、別紙の各プログラムごとの意見、さらには我々の審議会における様々な議論を十分参照して取り組まれますことを要望します。

記

- 1 重点プログラムの推進については、計画策定後、初の中間点検ということもあり、現状としてはおおむね着実な推進が図られており、引き続き計画的な推進に努められたい。
また、プログラムを構成する事業のうち、一部進捗に遅れのあるものについては、今後の取組において、より一層の努力を払われたい。
- 2 重点プログラムの進行管理においては、各事業における課題等を明確にし、効率的かつ効果的な事業推進のもと、着実な計画の推進を図られたい。
- 3 重点プログラムの各事業の推進に当たっては、計画の基調である市民の参加と協働をより意識するとともに、プログラム事業を地域で実施していく上での人づくりに留意した取組を図られたい。

《重点プログラム》

1 まちづくり戦略プログラム

① 未来を拓く都市空間形成プログラム

- ・ 新都心軸の形成の検討に当たっては、農業施策や土地利用のあり方、次世代に夢と希望を与えるようなまちづくりについて、課題を鮮明にして市民に問いかけ、方向性について広く議論しながら具体化に向け取り組まれない。
- ・ 津なぎさまちについて、海の玄関口にふさわしい整備に取り組むとともに、中心市街地である大門・丸之内との連携についても検討されたい。
- ・ 新都心軸構想については、3つの拠点のつながりだけでなく、この軸を中心とした市内への広がり、さらには、都心と自然とのつながり等を意識した検討をされたい。

② 自然の恵みの価値創造プログラム

- ・ バイオマス等の活用について、今後も調査研究を進め、本市の状況に見合った方向性を示されたい。
- ・ 森林セラピーロードの一層の整備を進めるとともに、その活用にあたっては、地域の方々との協働や人材育成にも配慮した取組を進められたい。
- ・ 有害鳥獣対策をより一層推進するとともに、環境保全の観点から、駆除後の対応について、新たな取組を推進されたい。また、里山の荒廃も獣害の大きな原因と思われることから、里山の整備についても検討されたい。
- ・ 子どもたちの生活様式の変化に関わって、交流に関する施策の実施にあたっては、子どもたちが自然を通じた交流が図れるよう、廃校舎を利用した生活体験等、様々な取組を検討されたい。

③ 海に開くまちづくりプログラム

- ・ 漁業振興の取組については、道の駅での海産物の販売等、地産地消を踏まえた取組をより一層推進されたい。
- ・ 津なぎさまちについて、海の玄関口にふさわしい整備に取り組むとともに、中心市街地である大門・丸之内との連携についても検討されたい。

(再掲 1-① 未来を拓く都市空間形成プログラム)

④ 持続可能な地域形成プログラム

- ・ バイオマス等の活用について、今後も調査研究を進め、本市の状況に見合った方向性を示されたい。

(再掲 1-② 自然の恵みの価値創造プログラム)

⑤ 歴史と文化の拠点形成プログラム

- ・ 歴史文化資源について、保存に関する取組を今後も継続的に進めるとともに、それらを活用した誘客にも取り組まれない。
- ・ 津城跡及び周辺地区の整備については、事業規模が大きくなることが予想され、全市的な取組としての機運を高めるためのPR活動等により、市民のアイデアを活かした市民参加型の事業として推進を図られたい。
- ・ 千歳山については、北大路魯山人と並び称される川喜田半泥子に関連する施設として、全国にPRできる資源であることから、歴史と文化に接する場としての活用を検討されたい。

⑥ 健康とスポーツの振興プログラム

- ・ スポーツ施設の整備と合わせ、健康増進等をテーマとしたスポーツ振興施策を実施されたい。また、スポーツを軸とした観光や地域振興についても検討されたい。
- ・ 津シティマラソンを始めとするスポーツ関連事業においては、市内の人的資源の有効活用を図るため、関係者だけではなく、多くの人の協力のもと実施することを検討されたい。

2 元気づくりプログラム

① 住みやすさ向上プログラム

- ・ 自主防災組織の整備及び組織の強化に当たっては、地域特性を踏まえた綿密な取組を進めるとともに、高齢者が主体となっている実態も踏まえ、若年層の参加を促すなど、実効性にも留意した取組を図られたい。

② 元気な人づくりプログラム

- ・ 三重大学を始めとする市内の高等教育機関との連携をより一層進められたい。
- ・ 津ぎょうざについて、津市の全国発信につながるよう、より一層の活動の促進を図られたい。

③ 若者定住プログラム

- ・ 幼保一体化について、国の動向を注視しつつ、導入に向けての準備を進めるとともに、子育てをしやすい環境づくりに向けて、より一層の取組を推進されたい。

④ 交流による活力創造プログラム

- ・ 津市の魅力は、産業や豊かな自然など、様々な恵みが一体となった「住みやすさ」にあると思われる。文化及びスポーツ施策について重点的に取り組むことで、住みやすさの一層の充実を図りたい。
- ・ 交流に関する施策の実施に当たっては、様々な市民の参加が不可欠であり、特に、若年層やいわゆる団塊世代の参加を促進するため、伊勢神宮の式年遷宮や、近年のウォーキングブームを積極的に活用するなど、市内外の観光資源等を活用した取組を推進されたい。
- ・ 津シティマラソンを始めとするスポーツ関連事業においては、市内の人的資源の有効活用を図るため、関係者だけではなく、多くの人の協力のもと実施することを検討されたい。 (再掲 1-⑥ 健康とスポーツの振興プログラム)
- ・ スポーツ施設の整備と合わせ、健康増進等をテーマとしたスポーツ振興施策を実施されたい。また、スポーツを軸とした観光や地域振興についても検討されたい。 (再掲 1-⑥ 健康とスポーツの振興プログラム)
- ・ 大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」の放映を契機とした事業の実施に当たっては、様々な事業を組み合わせ、戦略的に取り組まれたい。
- ・ 中山間地域においては、定年後に田舎暮らしを希望している都会の人の受け皿となるような移住交流の取組をさらに進め、地域の活性化を図りたい。

⑤ 津らしさ実感プログラム

- ・ 津ぎょうざについて、津市の全国発信につながるよう、より一層の活動の促進を図りたい。 (再掲 2-② 元気な人づくりプログラム)

3 地域かがやきプログラム

- ① 東部エリア ～キラリと輝く人づくり・まちづくり～
- ② 北部エリア ～都市や自然と共生するふれあいの里づくり～
- ③ 中部エリア ～“みのり”と“ぬくもり”の郷づくり～
さと
- ④ 南部エリア ～健康で暮らせる自然と歴史の地域づくり～